

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

産業振興課

補助金等の名称	佐倉市中小企業退職金共済掛金補助金						
予算科目	一般会計 款 6 項 1 目 4						
予算事業名	中小企業退職金共済掛金補助事業						
実施計画の位置づけ	就業の促進、雇用の安定を図ります						
補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし					千円	
交付先	市内中小企業者						
支出根拠規定	佐倉市中小企業退職金共済掛金補助金交付要綱						
補助の目的	退職金制度への加入を促進させるとともに、中小企業における従業員の福祉の向上と雇用の安定を図り、もって中小企業の振興に寄与する。						
補助の効果	雇用の安定による従業員の福祉向上と中小企業の振興						
補助対象事業の 具体的内容	中小企業退職金共済の新規加入者分掛金の一部を補助する。						
対象経費及び補助率	掛金納付金額の10%で一人当たり年12,000円を限度。交付期間は12カ月。						
補助金額の根拠	市内中小企業者が、新規に採用した従業員に対して前年の1月から12月までの期間中に、加入時から12カ月の掛金を完納したことを要件として、対象となる被共催者について中退共事業本部にリストアップを依頼し、対象者数及び補助金額を把握している。						
備考 1/2を超えて補助、設 立5年を超えて運営費 補助する理由 その他							
補助期間	平成27年 4月 1日～令和2年 3月31日						

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	産業振興課		
補助金等の名称		佐倉市中小企業退職金共済掛金補助金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,528	加入人数123人(加入企業数34社)	657	加入人数95人(加入企業数29社)	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	適格退職年金制度の廃止(平成23年度末)に伴う中退共への切替加入等が落ち着いてきたことで、加入人数、加入企業数ともに過去数年よりやや少なかったが、制度加入の促進の効果を得ることができた。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,528	加入人数123人(加入企業数34社)	645	加入人数88人(加入企業数35社)	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	加入人数、加入企業数ともに昨年度並みであるが、対象者への申請促進をより丁寧に行ったことから、申請率が上昇した。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,528	加入人数123人(加入企業数34社)	775	加入人数144人(加入企業数32社)	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	加入人数については昨年度と比較して56人増加しているが、これは大人数加入の事業者による影響が多しい。(1社45人加入)加入企業数でみると3社減ということから引き続き、制度加入の促進に力を入れていく。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,528	加入人数123人(加入企業数34社)	834	加入人数110人(加入企業数33社)	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	加入企業数は増加しているが、一社あたりの加入人数が減ったため、全体での加入人数は減少となった。雇用状況の改善が続く中で、中小企業の採用数も増えているはずなので、引き続き制度周知を行って、申請数の増加を目指す。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	1,528	加入人数123人(加入企業数34社)	1,076	加入人数143人(加入企業数36社)	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	加入企業数も加入人数も増加の傾向。市内雇用の安定による従業員の福祉向上と中小企業の振興を達成できた。				
計画期間終了後の最終的な目標値		5ヵ年で加入人数615人(延べ加入企業数170社)			
計画期間終了後の最終的な成果値		5ヵ年で加入人数580人(延べ加入企業数165社)			